

社会福祉事業について



高見 博道 議員
(令和新風加西)

問 生活保護の受給に当たっては、失業や病気、けが、年齢的に再就職が見込めないなど様々な要因があると思います。令和2年度の事務報告書によると、受給者全体のうち適用期間が5年から10年未満の方が29%、10年以上の方が30.5%と6割近くの世界帯が長期にわたって受給されていますが、どのような要因によるものが多いのかお聞きします。

答 生活保護の適用期間を令和2年度の状況で見ると、138

世帯中10年以上が42世帯で全体の30.5%と最も多く、次いで5年から10年未満が40世帯で29%と、適用期間5年以上の世界帯が全体の約60%を占め、長期化傾向が見られます。

その原因としては、世帯員全員が65歳以上の高齢者世帯が98世帯と全体の71%を占め、高齢者で保護が開始になると、自立はなかなか難しい状況になっています。病気や障害等を理由に保護になる場合は、病気が治る、また他の年金を利用できるようになるなどの理由で比較的早く保護から自立される場合がありますが、高齢者世帯の場合は、一旦保護になると自立が難しいという状況です。

問 生活困窮者の自立支援事業についてお聞きします。

答 生活保護に至る前段階の自立支援策の強化を図る目的で、生活全般にわたる相談を受けています。生活に困っている1人1人の状況に合わせた支援プランを作成し、自立相談支援員が他の機関とも連携して解決に向けて支援しています。就労準備支援や住宅確保給付金、家計改善支援、子供の学習・生活支援事業など、多様な状況に応じて様々な支援を行っています。令和2年度の相談件数は192件、令和3年度は11月末で83件の新規相談を受けています。

■その他の質問項目

- ・加西インター産業団地について
- ・東高室地区再開発について
- ・マイナンバーカードについて
- ・新型コロナウイルスワクチン接種について

農業振興について



土本 昌幸 議員
(公明党)

問 大型トラクターの資格取得についてお伺いします。技能講習会の受講申込みが多く、受講できないとの指摘がありました。主催する兵庫県農業機械化協会に確認したところ、年間の受講者数は加西会場で定員120人、豊岡会場で40人ですが、令和3年度は595名の応募があり、抽選したとのことでした。所管する県にも確認したところ、令和3年度は特別に120人増員するとのことでした。またJA全農も令和3年度から組合員限定で70人程度行うそ

うです。

加西市も農業振興の観点から、高額な受講料も含めてできる限りの支援が必要ではないか。考えをお聞きします。

答 非常に申込みが多くて受かりにくく、通りにくい。抽選になりますので、なかなか受講できない状況が続いています。令和3年度は新たに120名の定員増とはいえ、加西市の方は20名弱の受講になると思います。

加西市としても、農業経営の省力化、効率化のために大型機械は必要であり、後継者育成の観点から、免許取得のための講習会の開催回数を増やす必要があると考えています。講習回数を増やしていただくように県へ要望したり、北播磨地区の市町で共同開催ができないかなど検討したいと考えています。

また、受講料が3万円と高額であるため、地域農業の担い手育成の観点から、若者や女性の農業参画を促す目的で、女性または45歳未満の男性が講習を受講される場合、受講料の3万円を助成しています。

現在、担当で対応策について検討しており、もう少し時間を頂きたいと思っています。

要望 受講料については、しっかり支援していただくよう要望しておきます。また、若い人が後継者としてやっていけるように取り組んでいただくようお願いします。

■その他の質問項目

- ・安全・安心のまちづくり
- ・ガン検診について
- ・市制55周年について